

Microchip 社の mPoE を使った入出管理システムへの給電

Microchip 社の mPoE は、PoE IC と PoE システム (ミッドスパン/インジェクタ、スイッチ) で構成された包括的でエンドツーエンドの PoE ソリューションを提供します。これらのソリューションを使う事で、ネットワークに接続した入出管理システムに信頼性の高い電源を提供できます。

入出管理システムは、建物/施設への人の入場/退場を監視および管理するために使われています。それらのシステムは、資格のない人の入場を防ぐと同時に資格のある人には迅速で快適なアクセスを提供するように作られています。しかし、COVID-19 感染拡大により、安全性と快適性への要求が高まり、入出システムには以下の特長が求められています。

- オフィスビルや商店内の人数を監視、入場を制限する
- 入出の際に物理的な接触を必要としない
- 感染中または検疫期間中の人物の立ち入りを制限する
- カメラシステムを使って「マスク非着用」の警告を出す

このようなシステムには PoE (Power over Ethernet) を使って給電できます。PoE を使うと IP 機器の設置が容易となり、標準的な Ethernet インフラストラクチャを介してデータと一緒に安全かつインテリジェントな電源を提供できます。今日では、多くの入出管理システムが PoE 対応のオプションを提供しています。PoE を使った入出管理システムへの給電には以下のような利点があります。

- PoE は国際的な電源規格であるため、地域ごとに異なる AC インフラストラクチャや電源プラグに影響されることなく安全に低電圧 DC 電源を提供可能
- データ通信用とは別に電源用インフラストラクチャを用意する必要がないためコストの低減が可能 (AC コンセントの敷設等の電気工事が不要)
- どこでも簡単かつシームレスに接続可能

- 電源は集中管理されリモートでリセット可能であるため、物理的な遮断/接続が不要
- 標準 Ethernet ネットワークを介して提供される電源は有効な PD が検出されるまで投入されないため、PoE 非対応デバイスを安全に保護可能

以下の特長を備えた Microchip 社の **mPoE (multi-Power over Ethernet)**は効率、対費用効果、信頼性に優れた電源を入出管理システムに提供可能です。

- 簡単かつシームレスな機器の設置が可能 - プラグ&プレイですぐに使えるソリューションであり、市場の要求に即応可能
- 最大 90 W の電力供給能力 - 非常に高機能な入出管理装置にも給電可能
- 多用途 - 1~24 ポート、屋内向け、屋外向け、産業グレード等、幅広いアプリケーションをサポート可能
- 下位互換性 - ユニークなアルゴリズムにより、全ての IEEE® PoE 規格をサポートすると共に PoE 以前の機器との互換性も維持
- 法規制への準拠 - Microchip mPoE ミッドスパンおよびスイッチは世界各国の認証および安全認可に適合済み
- ベンダーに非依存 — 既存の入出管理端末を幅広くサポート

Microchip 社の mPoE は、PoE IC と PoE システム (ミッドスパン/インジェクタ、スイッチ)で構成された包括的エンドツーエンド PoE ソリューションを提供します。 Microchip 社が提供する入出管理システム向け PoE ソリューションの詳細は www.microchip.com/mPoE でご覧ください。

Shruti Usgaonkar, Dec 10, 2020